ジムノミカタ 利用経験者アンケート（11問版・15件）個人が特定されないよう加工した版

かなたんブログ（kumakumablog.com）独自調査／2026年6月にクラウドソーシングで募集した、ジムノミカタの利用経験者の回答です（利用経験は自己申告）。

2026年11月5日加工：年齢・性別・住んでいる地域・事務の経験・職種・転職先の欄を消し、回答文の中の年齢・年数・地名・会社や業種・サービス名・家庭の事情などを■に置きかえました。年齢は「30歳以上／30歳未満」だけ、転職の経路は筆者が自由記述から分けたものです。

「除外」は、ほかのアンケートへの回答と年齢・地域・経歴・時期が食い違ったため、記事の集計に使っていない回答です（内容は載せていません）。2月に募集した5分版（5件）はこの表にありません。

No.	記事での扱い	利用時の年齢	転職の経路	不安だったこと	良かったこと	気になった点	これから転職する人へ
1	除外	—	—	（集計に使っていないため掲載しません）			
2	除外	—	—	（集計に使っていないため掲載しません）			
3	集計に使用	30歳未満	別のサービス経由など	全くの未経験だったので即戦力にもならず、面接での受け答えは非常に苦労しました。	やはり転職アドバイザーの存在が大きかったです。未経験者の9割を正社員へ転職させた実績がありましたし、半日以上もかけて相談にのってくれました。 紹介してくれる求人も全てホワイト企業ばかりで、給与やシフト、有給などもこちらの条件を全部取り入れてくれたので、サポート面はバッチリでした。	熱量が高いせいか希望する勤務地以外の求人を紹介されたり、電話やメール、LINEでの連絡が多かった事には少しうんざりでした。	未経験者の私でも正社員として事務職へ転職できたので、優良エージェントである事は間違いありません。一人の転職活動ならここまで条件のいい求人から内定をもらえるわけでもなかったでしょう。 二人三脚でアドバイザーがサポートしてくれたおかげだと思っているので、特に事務未経験者の方へお勧めしたいです。
4	除外	—	—	（集計に使っていないため掲載しません）			
5	集計に使用	30歳以上	別のサービス経由など	（特に未経験／年齢／ブランクなど） 年齢が不利にならないことや転職回数が多いこと、ブランクが評価に響かないか不安に感じることです。	良かった点としては転職サイトに出ていない非公開求人を紹介してもらえることが多く、自分で探すだけより選択肢が広がったり、自分に合うエージェントとマッチングさせてくれることです。	気になった点としては求人の選択肢が狭くなりやすかったり、条件に合わない求人を勧められることがあることです。	自分に合う事務の種類を決め、求められる基本スキルを理解をすることが大事だと思っています。

6	集計に使用	30歳以上	別のサービス経由など	前職で担当していた経理業務が、限られた範囲内での入力作業がメインであり、決算などの本格的な実務に携われていなかったことが最大の不安材料でした。■場において、「経理事務」としてどのようなスキルセットが求められているのか、今の自分の実力でどこまで通用するのかという基準が全く分からず、キャリアの停滞感に焦りを感じていました。	ジムノミカタを利用した際、現在の経理業界における求められるスキルセットや、将来的なキャリアパスの選択肢について非常に体系的なアドバイスをいただきました。事務職といっても経理は専門性が高く、どのような資格や業務経験があれば市場価値が上がるのか、具体的に提示していただけたことで、自分の中で進むべき道が明確になりました。今回の転職では結果的に大手の総合型エージェントを使用しましたが、こちらのジムノミカタで詳細なカウンセリングを受けたことで、自分の強みと弱みを冷静に把握できたことが、その後の選考において大きな自信になりました。事務職特化のプロの視点は、やはり一味違うと感じました。	事務職特化ゆえに、既存の業務スキルの延長線上での提案が中心になる傾向があります。もっと全く異なる業界へ飛び込みたい、あるいは未経験領域への好奇心という面では、少し物足りなさを感じるかもしれません。広い視点での提案を求める場合は、自分の希望をよりはっきりと伝える必要があると感じました。	経理などの専門職を目指す場合、実務経験に不安があるなら、資格取得を並行しながら活動するのが一番の自信になります。面接では、スキルをどれだけ持っているかだけでなく、これまでの業務の中でどのように数字と向き合い、どう信頼を築いてきたかという姿勢を伝えるように意識してください。転職活動は、自分のこれまでのキャリアを振り返り、今後どうなりたいかを整理する貴重な機会です。焦って希望しない企業に入るよりも、自分のやりたい業務内容を明確にし、それが実現できる企業に出会うまで粘り強く活動することが、結果的に長く安定して働くための秘訣だと思います。
7	集計に使用	30歳未満	ジムノミカタ経由	最大の懸念は、事務職としてのスキルが汎用的なものに留まっており、他社で評価されるほどの強みがないのではないかという自己評価の低さでした。■間同じ環境で働いてきたため、社内特有のルールやシステムに頼り切った働き方になっており、真っさらな状態で他社の選考に臨むことに大きな不安を抱えていました。また、年齢的にも■というタイミングで、次に選ぶ会社を長く続けられる環境にできるのか、というプレッシャーが非常に大きかったです。自分のこれまでの経験が市場でどう評価されるのかが分からず、面接で自分の長所をどうアピールすべきか、客観的な意見が欲しくてたまりませんでした。	事務職特化のエージェントだからこそ、担当者が事務の業務内容を細部まで深く理解しており、企業の細かいニーズと私のスキルを非常に高精度でマッチングしてくれた点です。単に求人を紹介するだけでなく、その企業で事務スタッフが具体的にどのような業務フローを構築し、どの程度の裁量を持って働いているのかを具体的に教えていただけました。これにより、書類選考の段階から自分の過去の経験をどう当てはめるべきか、戦略的に準備することができました。特に、自分の強みを棚卸しし、職務経歴書をより具体的に書き直すプロセスにおいて、担当者が親身になって相談に乗ってくれたことが、自信の回復に大きく繋がりました。	エージェント側の担当者の熱意が非常に高いため、活動のペースが早いと感じる場面がありました。働きながらの転職活動であったため、深夜や早朝の連絡が重なると少し疲弊してしまうこともありました。	実は企業が一番求めているのは、信頼して任せられる安定感と、周囲への配慮ができるコミュニケーション能力です。これまでの事務経験を語る際は、単に何をしていたかではなく、どのような工■をして効率を上げたか、周囲からどう頼りにされていたかを具体的にエピソード化してみてください。一人で考えると自分の強みは見えにくいものです。今回のような特化型エージェントを活用して、自分の市場価値を第三者の視点で分析してもらうことは、転職成功への最短ルートだと思います。

8	集計に使用	30歳以上	その他・不明	（特に未経験／年齢／ブランクなど） 経験が少ないこと。どうしても営業職やプログラマーなどとは異なり、企業側に教育する余裕がない場合が多かったです。そのため、実務経験が優遇されやすくって、それは困りました。 どうしても成果をアピールできない職種ですし、他の応募者と差をつけられなかったです。	オンラインでも相談ができたのが心強かったです。もちろん、電話、対面にて面談ができました。LINEのチャット機能も使って相談ができ、活動に疲れがでづらかったです。 あとは、未経験でもOJT研修、マニュアルが整っている企業を紹介してもらえる点です。	■での活動になると、面接にこぎつけるまで迅速ではない場合もありました。求人数はあっても、早いものガチなところもあったり、応募も殺到しやすかったり、逆に前に出ていた求人がまた出ていたり…。時間がかかることは気になります。	事務未経験でも、自分の希望や要望に沿って紹介してもらえます。まずは、登録してみて、活動してみることをおすすめします。
9	集計に使用	30歳未満	別のサービス経由など	事務職の中でも、より専門性の高い経理事務としてステップアップしたいという強い希望がありました。しかし、前職では担当できる業務範囲が限定されており、決算や月次処理などの実務経験が不足しているという現実が大きな壁でした。未経験に近い経理領域への挑戦で、果たして今の自分の経理スキルを評価してくれる企業があるのか、それとも今の環境で下積みをするべきなのか、キャリアの選択に迷いが生じていました。	ジムノミカタを利用した際、現在の事務業界のトレンドや、経理事務としてどのような資格やスキルを取得しておけば市場価値が上がるかを具体的に教えてもらえたことは非常に有益でした。特に、事務職の働き方の多様性について、単なる転職の斡旋だけでなく、キャリア形成のヒントを多くいただけた点は感謝しています。今回の転職では結果的に他社を使いましたが、ジムノミカタでカウンセリングを受けたことで、自分の強みと弱みを冷静に把握できたことが、その後の活動において大きな自信に繋がりました。	カウンセラーの方が非常に優秀で、専門的な視点から事務職全般についての話を深掘りしてくださる一方で、自分のキャリアプランが少し固まりすぎていたため、提示された求人内容が自分の希望の枠をはみ出してしまうことがありました。事務職特化ゆえに、専門性が高すぎて、逆に未経験領域への好奇心という面では少し保守的なマッチングが提案されることもあります。もっと広い視点で業界を変えてみたいという方には、慎重なカウンセリングが逆に足かせに感じるかもしれません。	経理事務などの専門職を目指す場合、実務経験が不足しているなら、資格取得を並行しながら活動するのが一番の■です。面接では、スキルをどう持っているかだけでなく、これからどう成長したいかという熱意を数値で伝えるように意識してください。転職活動は、自分のキャリアを振り返る最大のチャンスです。焦って希望しない企業に入るよりも、自分のやりたい業務内容を明確にし、それが実現できる企業に出会うまで粘り強く活動することが、結果的に長く安定して働くための秘訣だと思います。
10	集計に使用	30歳以上	ジムノミカタ経由	■を経ての復職であり、約■間の空白期間があったことが一番の懸念材料でした。事務スキルそのものは身体が覚えているものの、新しいITツールや社内システムの進化に自分自身がついていけるか、職場の中で浮いてしまわないかという不安が常にありました。また、家事や■と両立しながら正社員として働ける環境を見つけられるか、面接でブランク期間中の生活についてどう説明すればプラスの印象を与えられるのかが分からず、最初は活動を始めること自体に勇気が必要でした。	面接対策において、ブランクをネガティブな要因としてではなく、生活の幅を広げ、人間的に成長した期間として前向きに変換するための言語化を手伝ってもらえたことです。担当者が私のこれまでのキャリアを尊重しつつ、今のライフスタイルに合った企業をピンポイントで紹介してくれたため、ミスマッチが起きにくかったのが良かったです。事務職は企業によって役割が非常に異なりますが、こちらのエージェントは募集企業の教育制度や、■中の女性スタッフがどれくらい活躍しているかといった実情を詳細に教えてくれたので、働くイメージを具体的に持つことができました。	特定の企業からの求人が集中している時期とそうでない時期の差があり、どうしても紹介可能な求人数が少ない週がありました。また、エージェントとのやり取りが基本的にメッセージツール中心だったため、電話で細かくニュアンスを相談したいときには少し物足りなさを感じる場面もありました。デジタルツールに慣れている方には便利ですが、対面でのカウンセリングを強く希望する方には、少しドライな印象を与えてしまうかもしれません。	復職や転職に不安はつきものですが、自分の事務経験は必ずどこかで必要とされています。ブランクがあるからといって自信を失う必要はありません。むしろ、社会人としての基礎がしっかりしている事務経験者は、どの企業でも重宝されます。大切なのは、自分のスキルにどのような「プラスアルファ」の価値があるかを自分自身で認めてあげることです。転職活動は孤独になりがちですが、プロの力を借りることで、自分一人では見えなかった市場価値が必ず見えてきます。

11	集計に使用	30歳未満	その他・不明	一番不安だったのは年齢と事務経験の少なさでした。応募しても書類選考で落ちることが続き、自分に合う求人があるのか心配でした。また、面接で自分の経験をどう伝えれば良いか分からず悩んでいました。	担当者が希望条件だけでなく、自分の強みを踏まえて求人を紹介してくれたことが良かったです。履歴書や職務経歴書の添削も丁寧で、面接前には企業ごとの特徴や質問内容を教えてもらえたので安心して臨めました。	都内の求人は豊富でしたが、希望条件を細かく設定すると紹介される求人が少なく感じることもありました。また、人気求人は募集終了が早い印象でした。	条件にこだわりすぎると選択肢が狭くなるので、まずは幅広く求人を見てみることをおすすめします。経験が少なくても、自分では気付いていない強みをアドバイザーが見つけてくれることもあるので、一人で悩まず相談しながら進めると転職活動がスムーズになると思います。アドバイザーにも当たり外れはあると思うので自分の気持ちはしっかり持って、登録しましょう
12	除外	—	—	（集計に使っていないため掲載しません）			
13	除外	—	—	（集計に使っていないため掲載しません）			
14	集計に使用	30歳以上	ジムノミカタ経由	■での転職だったため、未経験職種への挑戦が難しいのではないかという不安がありました。 また、これまでの経験がどこまで評価されるのか分からず、自分に合う求人が見つかるか心配でした。 在職中だったので、面接日程の調整も大変でした。	担当者が事務職に特化した求人を紹介してくれたため、自分で探すより効率よく情報収集できました。 履歴書や職務経歴書の添削も丁寧で、面接でよく聞かれる質問も事前に教えてもらえたので安心して選考に臨めました。 求人の特徴や職場の雰囲気についても詳しく説明してもらえた点が良かったです。	希望条件に合う求人が少ない時期もあり、紹介まで少し待つことがありました。 また、地域によっては求人件数に差があると感じました。 担当者との連絡が少し空くこともあり、不安になる場面がありました。	事務職は人気が高いため、条件を広げて求人を見ることも大切だと感じました。 職務経歴書は早めに準備し、担当者のアドバイスを積極的に取り入れることで選考がスムーズになります。 複数の転職エージェントを併用すると比較しやすく、自分に合った求人に出会える可能性も高まると思います。
15	集計に使用	30歳以上	別のサービス経由など	■に入ってからの転職活動ということもあり、年齢的な壁に加えて、前職の業務フローが独特だったため、新しい環境で即戦力として適応できるかどうかが非常に不安でした。また、転職活動のブランクを作らないよう、効率的に進めなければならないという焦りもありました。特に事務職は年齢やスキルセットで細かく選考が左右されるため、書類選考の段階で落ちないかという点でも精神的に追い詰められていたのが実情です。	事務職に特化した非公開求人が非常に多かったことが良かったです。他社では見つけられないような、ワークライフバランスの整った企業が多く紹介されました。また、担当のアドバイザーが事務職ならではの細かい業務内容や社内の雰囲気まで把握しており、面接前に具体的な対策を練ることができた点が非常に頼もしかったです。自分のスキルが事務職のどの領域で活きるかを客観的に分析してくれたのも、大きな自信に繋がりました。	紹介される求人の地域が主要な■部に偏っていると感じることがありました。■や郊外で働きたいと考えている方にとっては、選択肢が少し狭まってしまうかもしれません。また、担当者によっては連絡の頻度が多く、自分のペースでじっくり検討したい時にも頻繁にやり取りが発生したことが気になりました。もう少し求職者の検討状況に合わせた柔軟な連絡ペースを維持していただけると、より利用しやすいと感じます。	事務職は経験が重視されがちですが、これまでの業務で何に工■して取り組んできたかを具体的に言語化しておくことが最も重要です。例えば、単にデータの入力を行うだけでなく、ミスの削減のためにどのようなチェック体制を作ったかなど、小さな改善の積み重ねを面接官に伝えるようにしてください。また、未経験の業界であっても、事務スキルは共通する部分が多いので、過度に不安がらず自信を持って自分を売り込むことが大切だと思います。